

弘前市は21日、弘前公園のソメイヨシノの開花予想を早く正確に発表するため、予想の目安である「マルバマンサク」の開花予想を、弘前大学と共同研究していると明らかにした。同日の市議会一般質問で、石岡千鶴子議員(無党派)の質問に答えた。

弘前市、弘大と共同研究 発表前倒し目指す

桜開花予想に マンサク活用



め、市公園緑地課は桜の開花予想に生かしている。同課と弘大農学生命科学部の本多和茂准教授らとの共同研究は3年前に開始。



マンサクの花芽が休眠から覚める時期を見極め、開花までに必要な気象条件を探る。マンサクの開花が予想できれば、ソメイヨシノの

開花予想を前倒しできる。弘前公園のソメイヨシノは今春、観測史上最も早い4月7日に開花し、さらさまつりの準備が間に合わなかった。市都市整備部の小山内孝紀部長は議会答弁で「より精度の高い予想ができるよう研究を進める」と述べた。

(赤田和俊)

弘前公園のマンサク(写真上)。ソメイヨシノ(同下)の開花時期と関連性があるため、弘前市と弘大が共同で開花予想を研究している

上記の画像は、当該ページに限って”東奥日報”が利用を許諾したものです。無断転載はできません。